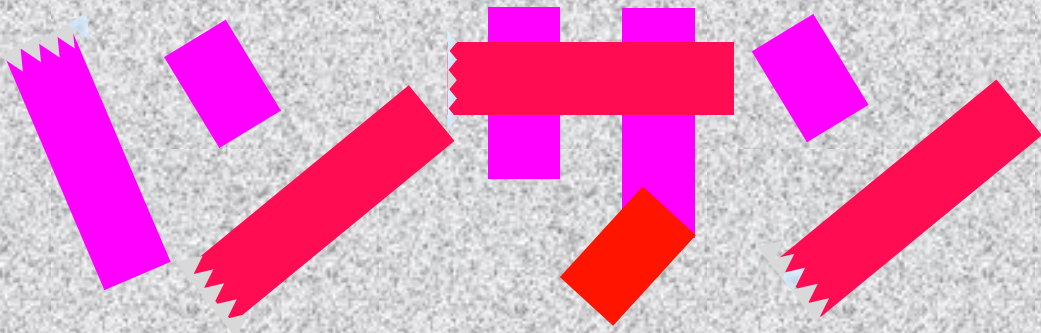


Hot And New South Akita Npo



5

May
2018
Vol.131



ワークショップの様子



◆表紙の紹介◆

「よこラボプロジェクト実行委員会」

4月21日、地域NPO、商業団体、高校生、行政などが話し合う「よこラボプロジェクト実行委員会」が開催されました。この実行委員会は、横手青年会議所まちづくり委員会が中心となり、横手を想う団体同士が協働することで可能となる事業を実施したいとの思いから立ち上がりました。まちの課題・解決策を探るワークショップではたくさんの提案がありました。

◆目次◆

- P2 ごあいさつ あきた未来創造部地域の元気創造課長
- P3 活動ウォッチング CSR ヨコウン株式会社
- P4 わくわくげんき 高校生ライター紹介
- P5 助成金情報
- P6 「貸借対照表の公告」への対応は済んでいますか？



新年度を迎え、皆様の県民協働推進に対するご支援、ご協力につきまして、心から御礼を申し上げます。

さて、県では、平成30年度から4年間の県政運営の指針となる「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」を策定し、人口減少の克服を最重要課題として位置づけ、「時代の変化を捉え力強く未来を切り拓く秋田」の実現を図っていくこととしております。

このプランでは、「秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略」において、人口減少下にあっても、「活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくり」を進めるため、企業とNPOの連携による地域貢献活動の創出や、住民、NPO、ボランティア、行政など多様な主体による協働を促進し、地域の活

秋田県あきた未来創造部
地域の元気創造課長

坂本 雅和



性化を図ることとしております。

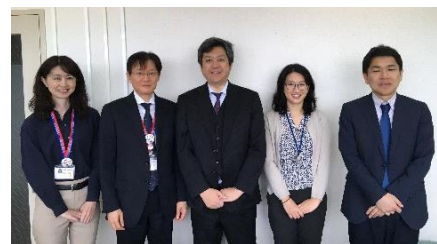
人口減少や高齢化の進行により、それぞれの地域が抱える課題はますます多様化・複雑化してきており、行政だけでは解決できないものも多く、多様な主体との協働による取り組みは、これまで以上に重要性を増しております。

このため、当課では、引き続き、県北・中央・県南の3市民活動サポートセンターと連携し、NPO・ボランティア活動の支援はもとより、企業CSRとのマッチング強化などをはじめ、一層の地域協働の推進を図って参りますので、NPO・ボランティアの皆様も活動の裾野をさらに広げ、持続可能な「地域社会」の形成に向けて、大いに力を発揮していただくようお願い申し上げます。

◆秋田県あきた未来創造部

地域の元気創造課地域協働推進班 業務内容

- NPO法人制度
- 協働の推進
- ボランティア・市民活動の促進
- ゆとり生活創造センター「遊学舎」
- 北部・南部市民活動支援センター
- あきたスギッチファンド
- コミュニティビジネス立ち上げ支援



連絡先
【TEL】 018-860-1245
【FAX】 018-860-3875

◆秋田県環境部

県民生活課安全安心まちづくり班 業務内容

- 安全・安心まちづくり
- 自主防犯活動の推進
- 犯罪被害者等支援
- 豪雪地帯対策基本計画・アクションプログラム
- 雪対策の推進



連絡先
【TEL】 018-860-1522
【FAX】 018-860-3891

◆南部市民活動サポートセンター

南部市民活動サポートセンターでは、NPO(市民活動団体)・ボランティアの運営・活動を支援し、市民と企業・地域が協働して社会課題の解決を進める市民参画社会の実現を目指しています。NPO 法人設立、団体事業運営、資金確保の相談・NPO 関連情報の提供など、中間支援の役割を担って活動しています。

【相談受付】 9:00~21:00 (月火水金)
9:00~17:00 (土日祝日)
【休館日】 木曜日・年末年始(12/29~1/3)
【住所】 〒013-0046 横手市神明町1-9
【TEL】 0182-33-7002
【FAX】 0182-33-7038
【E-mail】 ssc7002@luck.ocn.ne.jp

CSRの取り組み

「総合物流サービス」事業の発展で

～多様な社会貢献活動～

*4月26日

NPO 法人秋田スギッチファンド通常総会での講演内容

DATA 団体情報

ヨコウン株式会社

代表取締役社長 塩田 充弘

横手市卸町 8 番 14 号

TEL: 0182-32-3667

FAX: 0182-32-5672



当社は明治 14 年塩田陸運社として創業し、昭和 26 年に横手運送(株)を設立致しました。会社の経営理念は「総合物流サービスを通じて地域社会に貢献します」と定められています。

当社の様々な取り組みは地域やお客様等との対話の中から生まれています。地域やお客様の要望を捉え、その対話の中から当社の経営資源で出来る範囲の事を行うという姿勢で行って来ました。

何が社会貢献か？と問われると、無料奉仕だけが社会貢献とは考えておりません。事業も立派な社会貢献と考えています。多くの人を雇用し、夢ややり甲斐を与え、利益を出して税金を支払う、という事業活動も社会貢献だと考えております。今後も、事業を拡大し雇用を増やし貢献したいと考えております。

●ヨコウン交通遺児愛護会

不幸にして交通事故に遭われた方のご家族への支援です。交通災害により父または母を失った高校卒業前の児童・生徒の健全な育成と福祉の向上を図るため、愛護給付金を支給しています。

●アダプト・プログラム・ロードサポート

近隣道路の清掃活動を平鹿地域振興局との連携で行っています。「アダプト」とは「養子にする」という意味で、近隣道路の一定区間の「里親」となって、「養子」である道路の清掃活動を行っています。



●障害を持った方々への就職支援

働く意欲がありながら、就労が困難な障害者がいきいきと働ける雇用の場の創出を行っています。保健所の研修や精神障害者のセミナーに参加、障害者支援施設と連携し助言を受けるなど、障害者が安心して就労できる職場環境に配慮しています。

●地域のプロスポーツチームへの活動支援

企業として、秋田のスポーツを支援しています。プロバスケットボールチーム「秋田ノーザンハピネッツ」は平成 22 年より、プロサッカーチーム「ブラウブリッツ秋田」は平成 23 年より開始。トラックにチームロゴを貼ったアドトラックやピッチバナースポンサーとして活動を支援しています。



●横手 J-クレジット*でのカーボンオフセット

温室効果ガスを軽減する取り組みとして、横手 J-クレジットでのカーボンオフセットを、平成 28 年より開始しております。カーボンオフセットとは、CO² 等の温室効果ガスの排出について、植林・森林保護の権利（J-クレジット）を購入することにより、排出される温室効果ガスとの相殺（オフセット）をするという考え方です。毎年 10 t 分の横手 J-クレジットを購入しています。

●近隣図書館への雑誌スポンサー

横手市の「雑誌スポンサー制度」を活用し、市内 2 力所の図書館に雑誌を寄贈。平成 26 年より開始しています。雑誌スポンサーとして雑誌を寄贈することで、図書館サービスの充実を図り、市民の方々の教養やレクリエーション等に広く利用して頂くことを目的としています。

●職場見学の受け入れ

一般の方々や児童・学生を対象とした職場見学会を随時開催して、身近な「物流サービス」について理解を深めていただく機会作りをしています。また、大学生や高校生のインターンシップの受け入れも行っています。インターンシップを通じて仕事に対する興味や関心を高め、自分の適性や適職を考える機会づくりをしています。

*横手 J-クレジットとは、手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト推進協議会が発行する植林・森林保護の権利

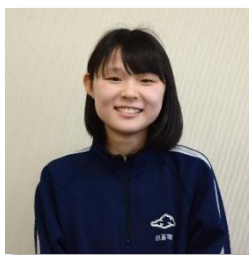
わくわくげんき Vol.1



「わくわくげんき」のコーナーは4年目に入りました。昨年度も参加してくれた横手高校定時制生徒3人と特別活動部担当の先生を紹介します。



高校生ライター紹介



さとう りこ
2年 佐藤 理湖さん

私は昨年取材した、「アケビの会」藤井さんに取材した時に、闘病生活の出来事や、肺がん患者のサポートについて語っていただいたことが、とても心に残っています。私

は、将来看護師になりたいので、医療や福祉の増進を図る活動をしている団体の情報発信に力を入れてがんばっていきたいです。

そのために取材をする時は、聞きたいことを明確にして自分の意見をしっかりと持ち、積極的に質問をして取材していきたいと思います。記事を書く際も、文章の書き方に気をつけて一年間がんばっていきたいと思います。



もろこし ともみ
2年 諸越 知美さん

昨年一年間のハンサンでの取材活動は、私にとって充実したものになりました。特に、「輝湖グリーンツーリズム」高橋輝子さんの元にお伺いしたときは、輝子さんの温かい

人柄に触れ、この活動をもっと伝えたいと思うきっかけになりました。しかし、私個人の記者としての力量はまだ不足していて、これでは折角の興味深いお話も上手く伝えられません。相手の話を引き出す取材力や、決められた字数の中で伝える文章力を一年間で付けていきたいです。また、今年は芸術の振興を図る活動や、男女共同参画社会の促進を図る活動取材してみたいなと思っています。一つでも多くの情報を伝えられるように頑張ります！



すがわら かんと
3年 菅原 寛人さん

今年は昨年度と比べて積極性を心掛けて活動したいと思っています。昨年度は、取材に同行して頂いている熊谷さんに話の流れを作っていたいただき質問していました。しかし、

これでは本当のコミュニケーション力が身に付きません。今後、進学あるいは就職しても、生きていくうえで、僕らの世代が最も苦手な力を今よりも身に付ける必要性が、取材活動を重ねる内に必要だと考えました。したがって今年度のインタビュー活動、ボランティア活動は積極性を意識して有意義な活動にしたいです。

市民団体の活動を取材することにより、地域のことに興味を持ち、コミュニケーションの大切さを感じてくれる3人です。本年度も市民活動の情報を若い心で発信してほしいものです。



横手高校定時制担当教諭
ほそい さいち
細井 才智さん



「わくわくげんき」のコーナーでは、ボランティア活動・イベント活動に参加した学生からも市民活動情報を発信してもらいます。取材の際は、たくさんの情報提供をよろしくお願い致します。

(熊谷淳子)

◆助成金情報◆

平成 30 年度元気なふるさと 秋田づくり活動支援事業（元気あきた資金）

平成 30 年度から若者や移住者等による地域の魅力の再発見や、交流人口の拡大につながる活動等を支援する「マイジェネレーション元気創造事業」枠を新設。

対象活動：「イベント等開催事業」「講演会・学習会等開催事業」「マイジェネレーション元気創造事業」

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/9516>

申込み期限：平成 30 年 5 月 15 日（火）

問合せ先：各地域振興局総務企画部地域企画課



中央競馬馬主社会福祉財団平成 30 年度施設整備等助成事業

社会福祉法人、特定非営利活動（NPO）法人等が運営する社会福祉施設等に対する施設整備等の助成事業。

締切：平成 30 年 5 月 31 日（木）

助成金額：上限概ね 150 万円

http://www.akaihane-akita.or.jp/pages/page/assistance_eat

連絡先：社会福祉法人秋田県共同募金会

TEL：018-864-2821



老後を豊かにする ボランティア活動資金助成事業

高齢者を主に対象のボランティア団体及び地域環境の改善につながる活動をしている高齢者中心のボランティア団体の活動で継続的に使用する用具・機器類の取得資金を助成。

締切：平成 30 年 5 月 25 日（金）

金額：上限 10 万円

詳細：<http://www.mizuho-ewf.or.jp/>

問合せ先：公益財団法人みずほ教育福祉財団

TEL：03-3596-4532



子どもゆめ基金 子どもの体験活動・読書活動

子どもを対象とする体験活動（自然体験活動、科学体験活動、交流を目的とする活動、社会奉仕体験活動、職場体験活動）、子どもたちが絵本等に親しむ活動を通じて、読書活動に取り組む意欲を育むことに対する助成。

締切：郵送・平成 30 年 6 月 5 日（火） 電子・6 月 19 日（火）

詳細：<https://yumekikin.niye.go.jp/jyosei/>

連絡先：国立青少年教育振興機構

子どもゆめ基金部助成課

TEL：0120-579081



ニッセイ財団高齢社会助成公募

「共に生きる地域コミュニティづくり」を基本テーマに高齢社会①「地域福祉チャレンジ活動助成」と②実践的研究助成（「実践的課題研究助成」、「若手実践的課題研究助成」）を実施。

募集締め切り：①平成 30 年 5 月 31 日（水）

②平成 30 年 6 月 15 日（金）

詳細：<http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/>

助成金額：最大 400 万円

連絡先：日本生命財団 高齢社会助成事務局

TEL 06-6204-4013



ファイザープログラム～心とからだのヘルスケア に関する市民活動・市民研究支援

助成の対象となるプロジェクトは、「中堅世代の人々の心とからだのヘルスケアに関する市民活動および市民研究」です。

応募期間：平成 30 年 6 月 1 日（金）～6 月 15 日（金）必着

助成金額：上限 300 万円

連絡先：市民社会創造ファンド

ファイザープログラム事務局

TEL：03-5623-5055



「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」

自然体験活動の広がり活性化を願い、ユニークで創造性にとんだ自然体験活動の企画を募集します。

募集内容：小・中学生が 10 人以上参加する、ユニークで独創性にあふれた自然体験活動の企画。

応募締切：平成 30 年 5 月 17 日（木）

問合せ先：安藤スポーツ・食文化振興財団

TEL：072-752-4335

<https://www.takarashuzo.co.jp/environment/fund/yoko.htm>



活動資金調達をお考えの NPO 法人・市民活動団体向けの助成金情報です。

申請書の書き方等の相談を受け付けております。

ご相談（0182-33-7002）ください。

休館日（木曜日）

THEME

「貸借対照表の公告」への対応は済んでいますか？

～完全対応セミナーを開催します。～

NPO法の改正により、10月1日に「貸借対照表の公告」がスタートします。NPO法人の理事・幹事の皆様もう対応はお済みですか？南部市民活動サポートセンターでは、「完全対応セミナー」を開催して支援します！（今 拓也）

NPO法人の定款に沿って、公告しないと法人の理事、監事は20万円以下の過料に処される可能性があります。「貸借対照表の公告」に合った定款に変更を検討し、公告を9月30日までに完了しましょう。下の表は3月決算法人をモデルとしたスケジュールです。

◆定款の変更手順・スケジュール！

年月	NPO法人	県への届出
H30年 4月まで	貸借対照表の「公告の方法」を検討 どれにするか？(どれなら対応できるか？)	(1)官報(2)日刊新聞紙(3)電子公告(いわゆるネット広告)(4)法人の住所内の掲示
H30年 5月頃 (定時総会)	総会の開催 ①議案に「定款変更(公告の方法)」を入れ、承認を得る ②議事録の作成	
H30年5月 (総会終了後すぐ)		様式第6号(特定非営利活動法人定款変更届出書)を提出
H30年 9月30日まで	貸借対照表の公告を完了(見れる状態)… H30年3月31日現在の貸借対照表から対象となる	

南部市民活動サポートセンターでは、5月のセミナーにて、NPO法改正の概要解説、具体的な対応策についてのセミナーを開催します。**定款を必ずご持参**のうえ参加してみませんか。

また、5月のセミナー参加の上での6月のセミナーでは合同対応会として、公告の方法で人気の高い「内閣府ポータルサイト」の使い方について、実際にセミナー内で行います。講師と一緒に、「貸借対照表の公開」をします。参加料は無料です。

●今後のセミナー日程

日 程	内 容
5月12日(土)10:00~11:30	【セミナー】 “貸借対照表の公告”のすべて
5月16日(水)13:30~15:00	※ 対応すること、検討すること、具体的な対応策。すべてお伝えします。
6月12日(火)13:30~17:00の間	【合同対応会】 内閣府ポータルサイトにアップしよう
6月16日(土)9:00~12:00の間	※ ポータルサイトに貸借対照表を公告(PDFデータでアップ)する手順をお伝えします。実際にやってみましょう。
6月22日(金)13:30~17:00の間	
7~9月	質問等への個別対応を継続(通常通り)
10月1日(月)	“貸借対照表の公告”スタート ★対応を9/30まで完了しておく必要あり

お問い合わせ・申込み先

南部市民活動サポートセンター 担当 今、熊谷、高城
TEL:0182-33-7002 FAX:0182-33-7038
E-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp (木曜日休館)

編集スタッフの VOL.1
つぶやき

サポートセンター長
高城憲子

平成10年3月にNPO法が成立されて20年になりました。日本に市民社会を根付かせることを目的としたNPO法は市民の社会参加の機会を飛躍的に推進しました。それによって私たちの社会はどう変容したのでしょうか。それぞれの地域と立場で多様な活動をしてきたNPOは3.11を経て社会になくしてはならない存在になりました。これからの10年は地域課題山積みの中どう向かい合っていくことが求められるのか。社会の中のNPOとして皆さんと共に考え行動していきたいと思ひます。

秋田県ボランティア・NPO活動ニュース県南版

ハンサン 2018年5月10日発行
5月号 VOL.131

発行：秋田県あきた未来創造部地域元気創造課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1 TEL.018-860-1245

編集：特定非営利活動法人秋田県南NPOセンター
(南部市民活動サポートセンター)

〒013-0046 横手市神明町1-9
TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

南部市民活動サポートセンター

【相談受付】月・火・水・金 9:00~18:00 土 9:00~17:00

【休館日】木曜日・年末年始(12/29~1/3)

〒013-0046 横手市神明町1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

E-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp

http://www.kennannpo.org/project/supportcenter.html

